PHONAK
life is on

A Sonova brand

耳かけ型補聴器

フォナック オーデオ EON

Phonak Audéo™ EON

取扱説明書



はじめに

このたびはフォナック補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

マイフォナック アプリについて

マイフォナック アプリの取扱説明書は、以下のコードを読み取るか、URLにアクセスし、表示されたウェブサイトのアプリ項目からダウンロードしてご参照ください。

https://www.phonak.com/ja-jp/hearing-devices/apps/myphonak

取扱説明書ではアプリの各画面の説明や使いかた、設定方法などが確認できます。

マイフォナック アプリをスマートフォンにインストールすることができます。以下のコードを読み取ってください。

▶iPhone®をお使いの方

▶Android™をお使いの方

iPhone®は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
IOS®はCisco Systems, Inc.および／またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Android™はGoogle LLCの商標です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

⃠ 禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■ 安全にお使いいただくために

自分で操作ができない方、自分で意思表示ができない方が使用される場合は、必ず周りの方が気をつけて、一人で使用させないでください。
また、36か月未満の乳幼児へは使用しないでください。

ご使用にあたって

■ 本体の取り扱いについて

⃠ 禁止

- 下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用を中止し耳鼻咽喉科医師（補聴器相談医）の診察を受けてください。
  - 耳の治療中の方、外耳道に痛みまたはかゆみがある場合
  - 最近3ヶ月以内に耳漏があった場合
  - 最近2ヶ月以内に聴力が低下した場合
  - 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなった場合
  - 耳あかが多くたまっている場合
  - 耳の手術を受けたことがある場合
  - 聴力測定の結果、平均聴力の左右差が25 dB以上ある場合
  - 聴力測定の結果、500、1,000、2,000 Hzの聴力に20 dB以上の気骨導差がある場合
- 音量を大きくしすぎないでください。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因になります。
- レントゲン撮影、CTスキャンなどの画像診断器で使用する放射線（X線など）の直接照射は補聴器に悪影響を与える場合があります。これらの機器を用いた撮影を行う前には医師に補聴器を外すかどうかをお尋ねください。
  またMRIスキャンは強い磁力を用いますので、MRI室に入る前には必ずお外しください。

- 補聴器およびフォナック チャージャーGo Eにはリチウムイオン電池が内蔵されています。飛行機に乗る際は、スーツケースなどの預け入れ手荷物ではなく、機内持ち込み手荷物としてお持ちください。
- 高気圧酸素治療のときは圧力により発火や故障の恐れがあるため、治療室内に持ち込まないでください。
- 過度の湿気や高温な場所は避けてください。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。
- 補聴器は完全防水ではありません。補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、強い水流を当てたり水中に沈めたりしないでください。
- 補聴器は、通常の活動や、時折さらされる極端な状況などには耐えられるように設計されていますが、水泳や入浴時などの継続的・長時間の浸水を想定した設計はされていません。これらの活動の前には必ず補聴器を外してください。
- 補聴器本体および付属品（耳せん等）を子どもの手の届くところやペットのそばに保管しないでください。万が一、誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。誤飲によって重大な化学やけどを引き起こす可能性があります。

⚠ 警告

- 通信機能が搭載されている器種におきましては、心臓ペースメーカ（およびICD）の動作に影響を及ぼす場合があります。
  心臓ペースメーカ（およびICD）を装着されている方は、補聴器を埋め込み部分から少なくとも15cm以上離してご使用ください。
  干渉が発生した場合には、補聴器を使用せずに、お使いの医療機器の製造業者に連絡してください。干渉は電源配線、静電気放電などによっても生じる場合があることをご留意ください。

- 磁石（電池ハンドリングツール、イージーフォンの磁石など）は、能動型植込み医療機器が植え込まれた部位から15cm以上離してください。
- 磁石を使用して外部からプログラム可能なCSFシャントバルブを使用されている方は、強い磁場にさらされるとバルブの設定が意図せず変更されるおそれがあります。補聴器のレシーバには永久磁石が含まれているため、シャントバルブの植込み部位から5㎝以上離してご使用ください。
- 電子レンジなどの加熱機器を使用して補聴器を乾燥させることは絶対にしないでください。火災や爆発の原因となります。
- 本機器は、爆発性領域（鉱山や爆発の危険のある工業地域、酸素が豊富な環境や引火性の麻酔薬を取り扱う場所など）では使用しないでください。本機器はATEX認証を受けていません。
- 耳から補聴器を取り外すときに、ごくまれに耳せんや耳あか防止システムがきちんと接続されておらず、外耳道内に残留することがあります。万が一、こうした部品が外耳道から取れなくなった場合には、安全に取り出すために医師の診察を受けることを強く推奨します。
- 電話や音楽を補聴器にストリーミングしているときは、CROS機器からの信号は補聴器には送信されません。CROS側の音に気付かない場合がありますのでご注意ください。

⚠ 注意

- 指向性マイクロホンが作動している場合は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。

- 無線通信機能が作動している場所や、IHクッキングヒーター・電子レンジ・超音波洗浄機や自動ドアなどを使用している場所では、雑音が入ることがあります。これは補聴器の故障ではありません。補聴器を取り外すか、強力な電波（電磁波）を発する機器に近付かないようにしてください。
- 小型家電リサイクル法により、不要になった補聴器は各自治体指定の方法によりリサイクルをしてください。尚、回収方法に関しては、各自治体のHP等にてご確認ください。
- 空港の保安検査場（セキュリティゲート）を通過する際に補聴器を取り外す必要はありません。補聴器が反応してしまった場合は、補聴器を装用していることを係員に伝えれば対応してもらえます。不安が残るようであれば、通過する前に係員に装用していることをお伝えください。
- 本製品は、2.4 GHz～2.48 GHzの範囲の無線周波数が使用されています。一般的に、離陸時や着陸時を含め航空機内ではどのタイミングでも本製品のワイヤレス機能を安全にご利用いただけます。ただし、航空会社や国によって規則が異なる場合があるため、航空会社の乗務員や運航事業者の指示には必ず従ってください。
- 汗、湿気、皮脂、耳あか、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。
- 補聴器のハウジングケースに劣化や破損があると防水性能を維持することができません。そのような症状が見られる場合には、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。
- 補聴器を使用する前、あるいは使用中に次の症状がある場合には、使用を中止して耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
  - 耳漏が生じたとき。
  - 耳の治療が必要になったとき。
  - 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
  - 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき。
  - 使用すると頭痛や疲れが生じるとき。

- 補聴器の外観、音質、音量等に異常を感じたとき。
- めまいが生じたとき。
- 部品が耳中に残留したとき。

- 本機器の内部構成部品の一部にはニッケルが含まれています。想定してはいないものの、ニッケルへの曝露の可能性は排除できません。ニッケルに敏感な人は、アレルギー性皮膚反応を起こす可能性があります。アレルギー反応が生じたらすぐに機器の使用を中止し、聴覚専門家に問い合わせるか、医師の診察を受けてください。
- チタン製シェルを使用したオーダーメイドの補聴器および耳せんには、接着剤から出たアクリル酸塩がわずかに含まれていることがあります。そのような物質に敏感な人は、アレルギー性皮膚反応を起こす可能性があります。アレルギー反応が生じたらすぐに機器の使用を中止し、聴覚専門家に問い合わせるか、医師の診察を受けてください。
- オーダーメイドの耳せんには、アクリレートまたはメタクリレートが含まれています。そのような物質に敏感な人は、アレルギー性皮膚反応を起こす可能性があります。アレルギー反応が生じたらすぐに機器の使用を中止し、聴覚専門家に問い合わせるか、医師の診察を受けてください。
- 充電補聴器の過放電をさけるため、補聴器を使用しない場合でも、補聴器を電源オフにし、満充電にした上で、少なくとも6か月に一度は補聴器を充電してください。充電池が過放電状態になると、充電池が劣化することで充電ができなくなり、充電池を交換することになります。
- オーダーメイドの耳せんを取り付けて補聴器を装用している場合、耳に強い物理的衝撃を与えないようにしてください。オーダーメイドの耳せんの安定性は、通常の使用を想定して設計されています。耳に強い物理的衝撃を与えると（スポーツ時など）、オーダーメイドの耳せんが破損する可能性があります。破損すると、外耳道または鼓膜に穴が開くおそれがあります。

- 補聴器に機械的ストレスや衝撃が加わった場合には、補聴器を耳に戻す前に、オーダーメイド耳せんに問題がないことを確認してください。

（フィッティングを行う専門家の方へ）

- 132dB SPLを超える音圧レベルは、残存聴力を害する恐れがあるのでご注意ください。
- 安全規格に適合していない機器に補聴器を接続してフィッティングを行わないでください。

■ リチウムイオン電池の取り扱いについて

⚠ 警告

- リチウムイオン電池の交換はメーカーで行う必要があります。リチウムイオン電池を分解しないでください。
- リチウムイオン電池は補聴器およびフォナック チャージャーGo Eから取り外せません。誤った使い方をすると破裂する危険があります。
- 万一リチウムイオン電池が破裂した場合、速やかに可燃物から遠ざけてください。
- 本充電式補聴器は、リチウムイオン電池が内蔵されているので、地域の規制に従って輸送してください。輸送する場合、本充電式補聴器は危険貨物に分類されます。不明な点がある場合は、本充電式補聴器を適切に輸送する方法について、輸送を担当する配達業者にお問い合わせください。

⚠ 注意

- 冬場や夏場など周囲温度が5℃から40℃の範囲を超える場合、補聴器が正しく機能しないことがあります。また、5℃から35℃の範囲を超える場合は、正しく充電できないことがあります。周囲温度が規定範囲に戻っても症状が改善されない場合は、「再起動する」（40ページ）を実行してください。
- 補聴器の性能が著しく低下している時は、お買い求めの販売店へ修理に出してください。
- リチウムイオン電池の使用耐用年数は使用または管理状況によって異なりますが、おおよそ4-5年です。

■ 充電用ACアダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

- 充電の際には専用のACアダプタを使用してください。
- 濡れた手でACアダプタのコードや電源コンセントに触れないでください。感電の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- 電源コンセントにつながれた状態で、電極接点などに手や指など体の一部を触れさせないでください。感電、傷害、故障の原因となります。

- ACアダプタを電源コンセントに差し込むときは金属類を触れさせないよう注意し、確実に差し込んでください。誤った場合、感電、ショート、火災の原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った場合、火災、故障の原因となります。
- 電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本体、ACアダプタには触れないでください。落雷の際に感電の原因となります。
- 充電中はACアダプタを安定した場所に置いてください。またACアダプタを布などで覆ったり、包んだりしないでください。

⚠ 注意

- ACアダプタを電源コンセントから抜く場合はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- ACアダプタのコードの上に重いものを載せないでください。感電、火災の原因となります。
- ACアダプタをコンセントに差し込む際は、ケーブルが引っ張られないよう配置してください。接触不良の原因となります。
- 電源タップや延長コードの使用は充電エラーを引き起こす場合があります。壁面のコンセントからの直接充電をお勧めします。
- 充電中に機器が高温になった場合、充電器は自動で充電を一時中断し、適正温度に下がった後、充電を自動再開します。

ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元に戻すものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調節してお使いください。
- 補聴器はお客様専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は耳鼻咽喉科専門医を受診されることをお勧めします。
- 耳鳴マスカ機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用にあたっては必ず医師の指示に従ってください。

もくじ

はじめに 2
安全上のご注意（必ずお守りください） 3
ご使用にあたって 4
ご使用になる前に 12
本書の器種名の表記について 14
各部の名称 15
充電する 17
補聴器の使い方 25
多機能ボタンの使い方 31
Bluetooth®を内蔵した機器と初めてペアリングする 33
携帯電話で通話する 35
タップコントロール 39
再起動する 40
ワイヤレス接続について 41
便利な機能について 42
防塵・防水性能に関する情報と注意 44
ご使用後のお手入れ方法 45
イージーガード耳せん 46
耳せん／耳あか防止フィルターの交換 47
補聴器の保管 53
初めてお使いになる方に 54
無線について 55
仕様・性能 56
トラブルシューティング 66
アフターサービス 68
シンボルマークの説明 69
保証について 71
Service and warranty 72
Compliance information 73

本書の器種名の表記について

フォナック オーデオ EONには、「スフィア」と「R」の2つのタイプがあります。各タイプのグレードとレシーバの出力の組み合わせでスフィアは12器種、Rは16器種が存在します。
器種名の見方については下記をご参照ください。

オーデオ E-スフィア

グレード		パワー
フォナック オーデオ E90-スフィア	×	S
フォナック オーデオ E70-スフィア		M
フォナック オーデオ E50-スフィア		P
		UP

オーデオ E-R

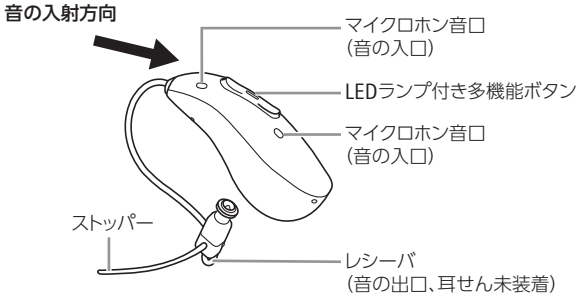
グレード		パワー
フォナック オーデオ E90-R	×	S
フォナック オーデオ E70-R		M
フォナック オーデオ E50-R		P
フォナック オーデオ E30-R		UP

本文中では、器種名を一部省略する場合があります。該当器種の見方は次の表をご参照ください。

文中の表記（例）	該当器種
「オーデオ E90」	フォナック オーデオ E90-スフィア S フォナック オーデオ E90-スフィア M フォナック オーデオ E90-スフィア P フォナック オーデオ E90-スフィア UP フォナック オーデオ E90-R S フォナック オーデオ E90-R M フォナック オーデオ E90-R P フォナック オーデオ E90-R UP

各部の名称

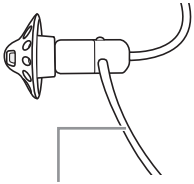
■ フォナック オーデオ EON



■ 耳せん

既製耳せん

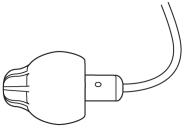
ドーム型耳せん



ストッパー

イージーガード耳せん

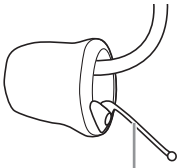
耳垢防止フィルター一体型
ドーム型耳せん



※ ドーム型耳せん同様にイージーガードも
ストッパーの取り付けは可能です。

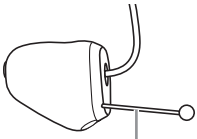
オーダーメイド耳せん

スリムチップ



取り出し用テグス

SPシェル



取り出し用テグス

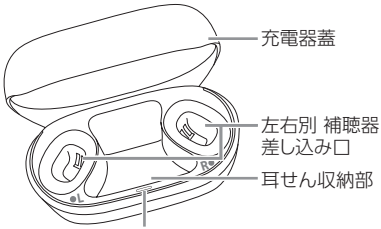
充電する

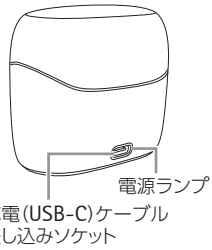
フォナック オーデオ EONにはリチウムイオン二次電池が内蔵されています。ご使用の前に、専用の充電器を使って充電してください。

充電器

充電器には、蓄電機能（内蔵電池）の有無の違いにより次の2種類があります。

名称	対応器種	蓄電機能
フォナック チャージャーGo E	E-スフィア E-R	あり
フォナック チャージャー RIC E		なし





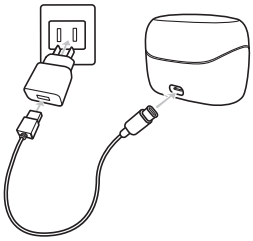
※ フォナック チャージャーGo Eのみ利用可能。

充電状態お知らせLEDランプの見かたについては、「充電器のお知らせLEDランプの表示」（23ページ）をご参照ください。

充電の準備

■ 充電ケーブルを接続する

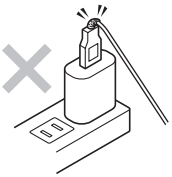
❶ 充電ケーブルの片方のプラグをACアダプタに、もう一方のプラグを充電ケーブル差し込みソケットに差し込みます。



❷ ACアダプタを電源コンセントに差します。
充電ケーブル差し込みソケットの電源ランプが緑色に点灯します。

⚠ 注意

- 充電ケーブルを折り曲げたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。ACアダプタや充電器との接触不良が生じ、充電不具合の原因となります。



■ 絶縁タブを取り外す（フォナック チャージャーGo Eのみ）

充電器を初めて使用するときは、絶縁タブを引き出して内蔵電池を起動してください。絶縁タブを引き出すと、インジケーターランプが10秒間赤く点灯します。



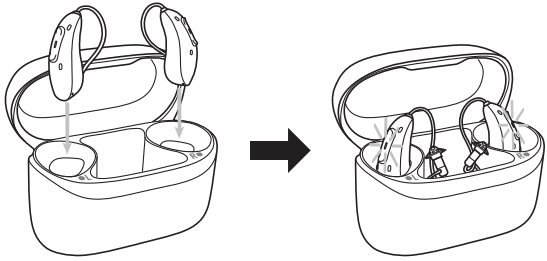
充電する

■ 充電器を使う

「充電ケーブルを接続する」（18ページ）を参照し、充電ケーブルを事前に接続しておいてください。

❶ 補聴器差し込み口に補聴器本体を入れます。

このとき、補聴器の左右を間違えないようにご注意ください。充電中は補聴器本体のLEDランプが点滅し、充電が完了すると緑色の点灯に変わります。LEDランプの表示については、「補聴器のお知らせLEDランプの表示」（22ページ）をご参照ください。



2 充電が完了したら補聴器を取り出します。

補聴器本体を持ち上げて取り出します。
補聴器は、充電器から取り出すと自動的に電源がオンになります。

⚠ 注意

- 補聴器本体や充電器が汗や水で濡れている場合は、必ず乾いた清潔な布などで拭き取ってから充電してください。
- 補聴器を充電器に差し込む際は、多機能ボタンに触れないようにしてください。
- フォナック チャージャーGo Eは蓄電可能なリチウムイオン電池が内蔵されています。ACアダプタを電源コンセントから抜いても、内蔵電池を利用して補聴器を充電し続けます。蓄電状態が空になるまで動作し続けます。
- 補聴器を充電器に保管するときは、充電器のACアダプタを電源コンセントから抜き、「電源を切る」（26ページ）の手順で補聴器の電源をオフにしてから充電器に収納してください。

MEMO

- 周囲温度が5℃から35℃の間で充電してください。35℃～40℃の温度で補聴器を充電すると、充電時間が長くなる場合があります。
- 過充電防止機能が付いていますので、一昼夜充電が可能です。
- 蓋を閉じた状態でも充電できます。
- 電池がなくなりかけると、電池寿命お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、すみやかに充電を開始してください。
  （電池が使用できなくなる約60分前に1回目、約30分前に2回目が鳴りますが、ワイヤレス機能を使用している場合は短くなるなど、補聴器の使用状態によって異なります。）
- 充電にかかる時間については、「補聴器のお知らせLEDランプの表示」（22ページ）をご参照ください。初めて補聴器を使用するときは、2.5時間充電することをお勧めします。
- 補聴器を取り出すときは、レシーバチューブではなく補聴器本体をつまんで取り出してください。
- 最初にフォナック チャージャーGo Eを使用するときは、2.5時間充電することをお勧めします。
- 完全に充電された補聴器は、充電器に入れたままにすると15分後にスリープモードになります。

■ 補聴器のお知らせLEDランプの表示

充電状態により、補聴器のお知らせLEDランプは以下のとおりに状態を表示します。

状態表示	充電状態	充電時間
赤（点滅）	0～10%	
オレンジ（点滅）	11～80%	約30分間（25%） 約60分間（55%）
緑（点滅）	81～99%	約2時間（90%）
緑（点灯）	100%	約2.5時間

■ 充電器の電源ランプの表示

充電器背面にある充電ケーブル差し込みソケットの電源ランプ（17ページ）で、充電器への電源供給の状態を確認できます。

状態表示	電源状態	説明
緑（点灯）	電源との接続あり	充電器が電源コンセントと接続されています。
点灯しない	電源との接続なし	電源コンセントからの電力が充電器に供給されていません。USBケーブルに損傷がなく、正しく接続されているか確認してください（18ページ）。

■ 充電器のお知らせLEDランプの表示（蓄電機能付き充電器のみ）

充電器が電源コンセントに接続されていない場合：補聴器への充電可能回数を確認する

蓄電機能付き充電器の内蔵電池に電力が残っている場合は、充電器が電源コンセントに接続されていないときも補聴器を充電することができます。内蔵電池の残量がなくなると、充電は自動的に停止します。

充電器の蓋を開けて、お知らせLEDランプ（17ページ）で充電器の充電状態を確認してください。内蔵電池の消費を抑えるため、しばらくするとお知らせLEDランプは消灯します。

状態表示	充電状態	説明
緑（点灯）	補聴器を1回以上充電可能※	充電器の内蔵電池は十分に充電されており、両耳補聴器を1回以上※満充電にする電力があります。
オレンジ（点灯）	補聴器を1回未満充電可能（満充電不可）	充電器の内蔵電池には、両耳補聴器を1回満充電にする電力がありません。充電器を電源コンセントに接続し、充電してください。
点灯なし	充電切れまたは充電エラー	充電器の内蔵電池が充電切れです。充電器を電源コンセントに接続し、充電してください。 充電されない場合は、USBケーブルに損傷がなく、正しく接続されているか確認してください（18ページ）。

※ 最大3回の満充電が可能です。

充電器が電源コンセントに接続されている場合：
充電器の内蔵電池の充電状態を確認する

充電器の内蔵電池を充電するには、蓄電機能付き充電器を電源コンセントに接続します。
充電器の蓋を開けて、お知らせLEDランプで内蔵電池の充電状態を確認してください。

状態表示	充電状態	説明
緑（点灯）	充電完了	充電器の内蔵電池は十分に充電されています。
緑（点滅）	充電中	充電器の内蔵電池は充電中で、完全には充電されていません。
赤（点灯）	エラー	内蔵電池の充電ができません。以下をお試しください。 ● 充電器を最適な温度条件(5℃～35℃)の場所に移動します。 ● 充電器を電源コンセントから取り外し、10秒間待ったあと、もう一度接続します。 ● 問題が解決しない場合、内蔵電池に問題があるかもしれません。お買い求めの販売店へお問い合わせください。
点灯なし	充電なし	内蔵電池の充電ができません。USBケーブルに損傷がなく、正しく接続されているか確認してください（18ページ）。

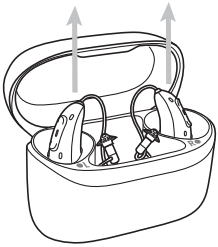
補聴器の使い方

電源の入れ方／切り方

❶ 電源を入れる：

補聴器を充電器から取り出すと、自動的に電源がオンになります。

多機能ボタンの下部を3秒間長押ししても、電源を入れることができます。





❷ 電源を切る：

多機能ボタンの下部を3秒間長押しします。



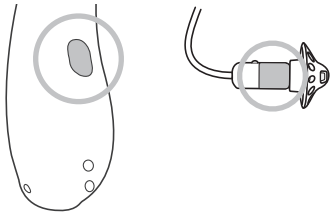
MEMO

- 電源を入れると、補聴器にあらかじめ設定された音量とプログラムが起動します。
- 電源を入れてから数秒後に音が出ます。スタートアップの遅延が設定されている場合は、さらに約6秒または12秒遅れて音が出ます。

補聴器の付け方／外し方

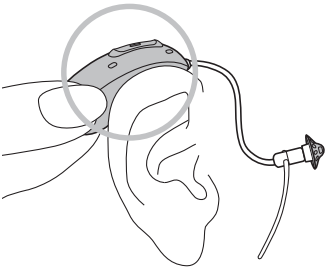
■ 装用の前に

補聴器には左耳用・右耳用がありますので左右をご確認ください。



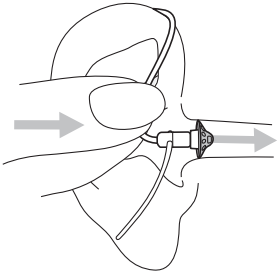
■ 補聴器の付け方

❶ マイクロホンが耳の上部にくるように、補聴器本体を耳介の後ろにかけます。



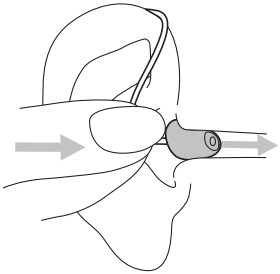
❷ **ドーム型耳せんの場合：**

耳せんが付いているチューブを図のように持ち、外耳道に耳せんをゆっくり押し込みます。



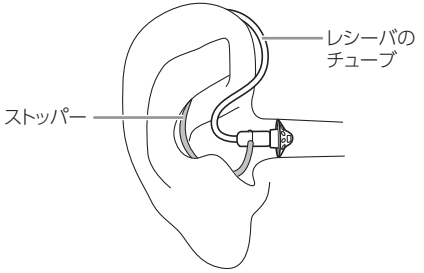
スリムチップ／SPシェルの場合：

スリムチップまたはSPシェルをゆっくり押し込みます。耳介部分を軽く後ろに引っぱりながら入れると、入れやすくなります。



❸ ストッパーがある場合は図のように耳のくぼみに沿うようにはめます。

最後に、図のように収まっているか指でなぞってご確認ください。



⚠ 注意

- ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気を付けてください。

MEMO

- ストッパーが不要であれば、取り外すことも可能です。お買い求めの販売店にお尋ねください。

ストッパーの取り外し／取り付け方法については、以下のコードを読み取るか、URLにアクセスして動画をご参照ください。

ストッパーの取り外し方法

https://youtu.be/9D2jAtJhfYQ

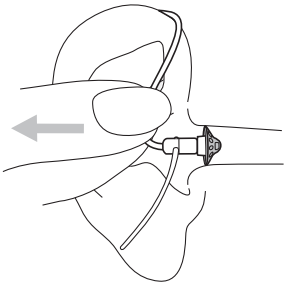
ストッパーの取り付け方法

https://youtu.be/deUC2NuDIqI

■ 補聴器の外し方

図のようにレシーバに近いチューブ部分をつかみ、ゆっくり耳から取り出します。

スリムチップ、SPシェルの場合は取り出し用テグスを使って取り出します。

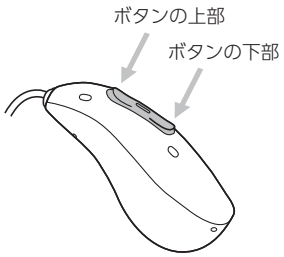


⚠ 注意

- 耳せんは、レシーバから外れないように作られていますが、万が一外れた耳せんが耳の中に入ってしまった場合には、すみやかに医療機関にご相談ください。

多機能ボタンの使い方

あらかじめ設定しておくことにより、多機能ボタンの押し方の違いや使用状況によって数種類の機能を使い分けることができます。また、触れても作用しないように設定することも可能です。



■ 通常使用時

	短押し	長押し
ボタンの上部	音量を上げる	プログラムを変更する
ボタンの下部	音量を下げる	プログラムを変更する※

■ ストリーミング使用時

	短押し	長押し
ボタンの上部	ストリーミングの音量を上げる	プログラムを変更する
ボタンの下部	ストリーミングの音量を下げる	プログラムを変更する※

■ 着信時

	短押し	長押し
ボタンの上部	電話に出る	着信を拒否する
ボタンの下部		着信を拒否する※

■ 通話中

	短押し	長押し
ボタンの上部	通話の音量を上げる	電話を切る
ボタンの下部	通話の音量を下げる	電話を切る※

※ そのまま長押しを続けると（約3秒）、電源が切れます。

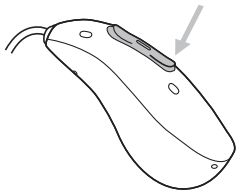
Bluetooth®を内蔵した機器と初めてペアリングする

マイフォナック アプリを利用する場合、Bluetooth®ペアリングはアプリ内で完結させることが可能です。
アプリは利用せず、通話やストリーミングにBluetooth接続したい場合は以下のペアリング方法をご利用ください。

MEMO

- Bluetooth®（以下、「Bluetooth」と表記します）を内蔵した機器を使用する際は、初回のみペアリング作業が必要です。一度ペアリングを行えば、補聴器はその機器と自動的に接続されます。ペアリングが完了するまでに約2分かかります。

1. ペアリングしたい機器（例：携帯電話）がBluetooth利用可能で、Bluetooth画面または接続画面でBluetooth機器の検索ができるか確認してください。
2. 「電源を切る」（26ページ）の手順で補聴器の電源をオフにします。
3. 「電源を入れる」（25ページ）の手順で再度、補聴器の電源をオンにします。
   補聴器の電源を入れると、約3分間ペアリングモード（Bluetooth接続待機状態）になります。



4 ペアリングしたいBluetooth機器の検出リスト画面に、検出されたBluetooth機器が表示されます。

リスト内から補聴器を選択します。接続されると、接続成功を意味するお知らせ音が補聴器から鳴ります。

MEMO

- 両耳補聴器をペアリングモードにしても、Bluetooth機器検出画面リストには片耳のみ表示されます。これはBluetoothの仕様によるもので、このままで問題ありません。
- アプリ内でBluetoothペアリングを完結した場合は、Bluetooth機器検出画面リストには接続した補聴器が台数分表示されます。
（例：両耳補聴器であれば2台分を表示）

一度Bluetooth機器とペアリングが完了すると、それ以降は、補聴器は電源が入ると自動的に機器と接続します。

MEMO

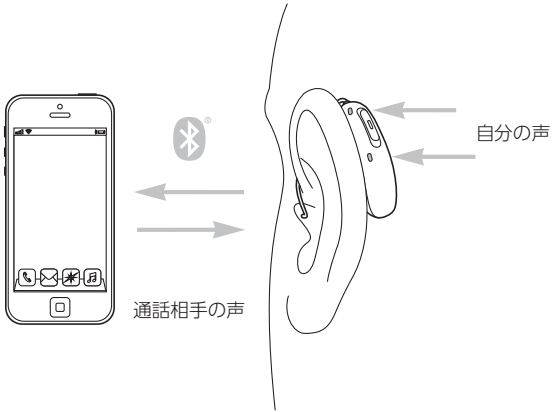
- Bluetooth機器の電源が入っていて、補聴器と接続できる範囲内にあれば接続状態は維持されます。
- 補聴器が接続の範囲外に出た後は、多機能ボタンを2秒程押すと、自動再接続を開始できます。
- 補聴器は、マルチポイントペアリング（同時待ち受け）最大2台、マルチペアリング（登録）最大8台まで可能です。

携帯電話で通話する

Bluetooth内蔵の携帯電話と接続して、ハンズフリーで通話できます。
携帯電話とペアリングすると、通話相手の声が補聴器を介して直接聞こえます。自分の声は補聴器のマイクが拾って通話相手に届けます。

MEMO

- ハンズフリー通話を行うには、携帯電話がHFPプロファイルに対応している必要があります。



Bluetooth®およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有し、Sonova AGはライセンスに基づいてこれらの商標を使用しています。

携帯電話と接続する

Bluetoothのワイヤレス機能を使用する場合、「Bluetooth®を内蔵した機器と初めてペアリングする」（33ページ）の手順で事前にペアリングする必要があります。ペアリングが完了すれば、自動的に補聴器と携帯電話が接続されます。

MEMO

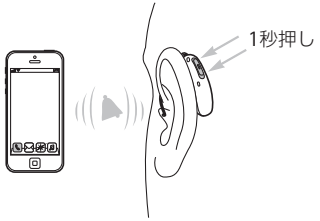
- 互換性がある携帯電話については、以下のURLにアクセスしてご確認ください。（携帯電話の機種によっては、記載がない場合があります）
  https://www.phonak.com/ja-jp/support/phone-compatibility
- 最大2台の携帯電話と同時待ち受け状態で接続できます（使用中は1台です）。

電話をかける

携帯電話で電話番号を入力し、電話をかけます。ダイヤル音が補聴器を通して聞こえます。自分の声は補聴器のマイクが拾って通話相手に届けます。

電話を受ける

電話がかかってくると、補聴器から着信音が聞こえます。
補聴器にある多機能ボタンのいずれかを短く押す（約1秒）と電話に出られます。タップコントロール（39ページ）を利用することもできます。

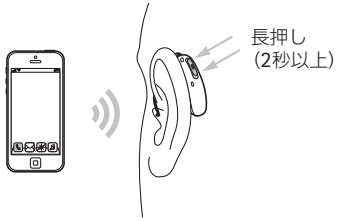


MEMO

- 携帯電話のボタン操作で電話に出ると、補聴器からではなく携帯電話から音声が聞こえる機種もあります。その場合は、補聴器から音声が聞こえるように、携帯電話から設定を行ってください。

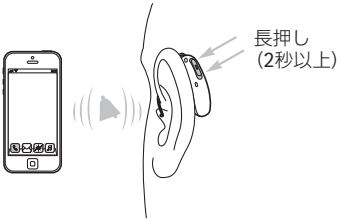
電話を切る

補聴器にある多機能ボタンのいずれかを長押し（2秒以上）するか、通常通り携帯電話で通話を終了します。タップコントロール（39ページ）を利用することもできます。



着信を拒否する

着信時に補聴器にある多機能ボタンのいずれかを長押し（2秒以上）すると、着信を拒否できます。



タップコントロール

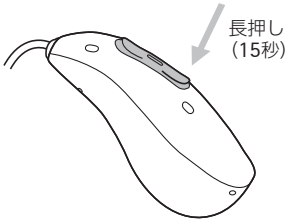
タップコントロールとは、補聴器を装用した状態で、耳の上部を2回タップして操作を行う機能です。
Bluetooth対応デバイスと組み合わせることで、電話の受話／終話、ストリーミングの一時停止／再開、ボイスアシスタントの開始／停止と言った複数の機能に割り当てることができます。



再起動する

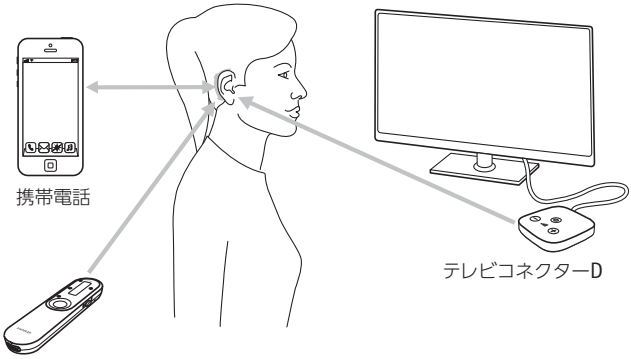
補聴器が正しく作動しない、充電されない、または音が鳴らない場合は、以下の手順で補聴器を再起動してください。なお、再起動を行っても、既存の設定は変更されません。

多機能ボタンの下部を15秒間長押しします。ボタンを押す前は、電源オンでもオフでもかまいません。15秒後、補聴器が再起動し、お知らせLEDランプが緑色に点滅したら再起動完了です。



ワイヤレス接続について

携帯電話やテレビコネクターD（別売）、ロジャー（別売）からの音声を直接聞き取ることができます。



MEMO

- テレビコネクターDは、テレビやパソコン、そのほかの音響機器などの音源に接続できます。詳しくはテレビコネクターDの取扱説明書、フォナック補聴器のwebサイトをご覧ください。
- ロジャー マイクロホンと接続することもできます。詳しくはお求めの販売店までお問い合わせください。

便利な機能について

電話用プログラム

電話の受話器の音を聞きやすくするプログラムです。
マイクロホンを利用できます。

デュオフォン



デュオフォンは、電話用プログラムを使用中に、片側の受話器の音声を両耳で聞くことができる機能です。（たとえば、右側にあてた固定電話の受話器の音声が、左側の補聴器からも聞こえます。）両耳で聞くことにより片耳の場合よりも電話の音声を聞き取りやすくなります。

受話器のスピーカー部分（音が出るところ）を補聴器のマイクにあてることで、デュオフォン機能がスムーズに作動します。
本機能を使用する場合は、電話用プログラムを事前に設定しておく必要があります。

■ 多機能ボタンまたはリモコンで切り替える場合

あらかじめ補聴器に電話用プログラムを設定しておき、必要に応じて切り替えます。
受話器をあてる側の耳をあらかじめ設定しておくか、ダイレクトタッチ機能による指定が可能です。
プログラムおよびダイレクトタッチ機能の設定については販売店にご相談ください。

設定	ダイレクトタッチ	電話する側	操作方法
1	オン	右側	右側の補聴器にある多機能ボタンの上部を長押しして、電話用のプログラムに切り替えます。右側の補聴器に入った電話の音声が左側の補聴器に送信されます。
		左側	左側の補聴器にある多機能ボタンの上部を長押しして、電話用のプログラムに切り替えます。左側の補聴器に入った電話の音声が右側の補聴器に送信されます。
2	オフ	右側	左右どちらかの補聴器にある多機能ボタンの上部を長押しするかマイフォナック アプリで電話用プログラムに切り替えます。右側の補聴器に入った電話の音声が左側の補聴器に送信されます。
3	オフ	左側	左右どちらかの補聴器にある多機能ボタンの上部を長押しするかマイフォナック アプリで電話用プログラムに切り替えます。左側の補聴器に入った電話の音声が右側の補聴器に送信されます。

※ ダイレクトタッチ機能は多機能ボタンで操作したときのみ有効です。

防塵・防水性能に関する情報と注意

フォナック オーデオ Eには、IP68の防塵・防水性能が備わっています。この性能を維持するため、以下の注意点をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

■ 一般的な注意点

ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器の聞き取りに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外したあとにヘアスプレー等をご使用ください。

■ 使用上における注意

- 汗やほこりが多く付いてしまった場合、乾いた布等できれいに拭き取り乾燥ケースに入れて乾燥させてください。(このときドライヤーは使用しないでください)
- スキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水中に潜るようなアクティビティをされる前には補聴器を取り外してください。
- フォナック チャージャー RIC Eには、IP21の防塵・防水性能が備わっています。これは、充電器が結露など垂直方向から落ちてくる水滴から保護されることを意味します。IP21は、充電器の蓋が閉まっている場合に適合します。
- フォナック チャージャーGo Eには、IP22の防塵・防水性能が備わっています。これは、充電器を15°まで傾けた際、垂直方向から落ちてくる水滴によって有害な影響を受けないことを意味します。IP22は、充電器の蓋が閉まっている場合に適合します。

ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

❶ 糸くずの出ない柔らかい布で、補聴器本体に付いた汗や汚れを拭き取ります。

❷ 耳あかが音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

⚠ 注意

- 補聴器や充電器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉など）は絶対にご使用にならないでください。
- レシーバや耳せんが水分で濡れた際は、水分を拭き取ってから使用してください。
- 水滴がレシーバや耳せんに残っていると、音が出ない、または補聴器の電気部分が壊れる可能性があります。
- 耳せんは3か月に1回のペースで交換してください。
- 耳せんは販売店でのみ交換できます。レシーバの先端から耳せんを外して耳に装用しないでください。耳を傷つける恐れがあります。
- 充電器は常に乾燥した状態でご使用ください。濡れてしまった場合は、すぐに電源から外し、乾燥させてから再度使用してください。
- 充電用差し込み口が清潔であることを確認してください。汚れている場合は、表面を柔らかな布で掃除してください。

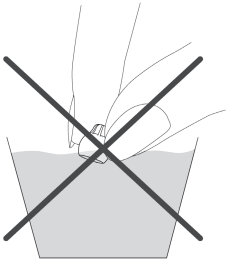
イージーガード耳せん

■ お使いの補聴器をイージーガード耳せんでご使用いただいている場合

- 補聴器を外した後、イージーガードは毎日お手入れしてください。
- 毎日のお手入れでは、レシーバからイージーガードを取り外さないでください。
  お手入れの際は、柔らかい湿らせた布などをご使用ください。水で直接洗い流すことは推奨していません。
- イージーガードの先端に特に注意し、ひだの間に蓄積した耳あかを取り除きます。お手入れの際は、鋭利なものを使用しないでください。イージーガードを傷つける恐れがあります。



- イージーガードは水に浸けないでください（例：超音波洗浄浴槽の中など）。イージーガードはレシーバが収まる部分が密閉されているので、耳せんの内部に水が入ると、水がそのまま溜まりレシーバの故障につながる可能性があります。



耳せん／耳あか防止フィルターの交換

定期的に耳せんと耳あか防止フィルター（セルストップ）をチェックし、汚れていたり音質が低下している場合は交換してください。交換する目安は耳せんは3ヶ月ごと、耳あか防止フィルターは4週ごとです。

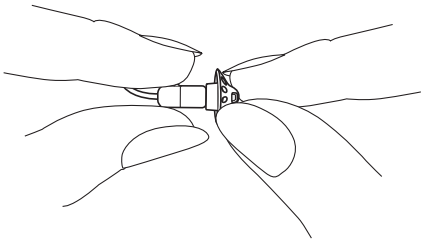
⚠ 注意

- お使いの耳せんがイージーガード耳せんの場合、耳あか防止フィルターの交換は不要です。
- 耳せん、耳あか防止フィルターの取り外し／取り付けを行うときは、無理な力を加えないようにしてください。

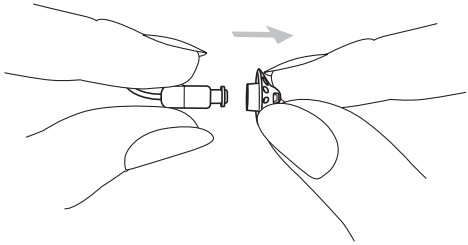
耳せんを取り外す

SPシェルをお使いの場合は、耳せんを取り外す手順は不要です。「耳あか防止フィルターを交換する」（49ページ）へ進んでください。

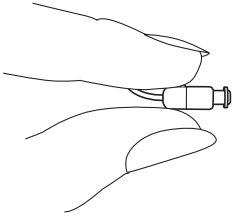
❶ 片方の手でレシーバをつまみ、もう一方の手で耳せんをつまみます。



❷ ゆっくりと耳せんを引き抜きます。



❸ 柔らかい布を使ってレシーバをきれいに拭き取ります。



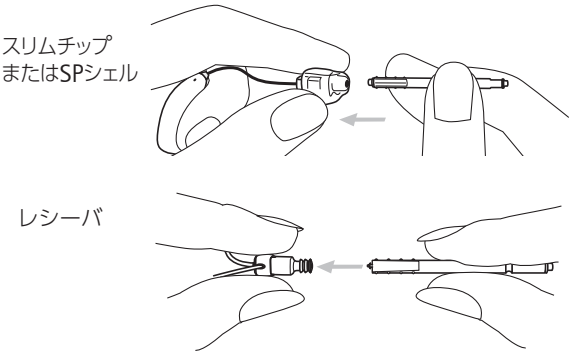
耳あか防止フィルターを交換する

耳あかが進入して不具合を起こさないように、レシーバ、スリムチップ、およびSPシェルには耳あか防止フィルター（セルストップ）が装着されています。以下の手順で耳あか防止フィルターを交換してください。

⚠ 注意

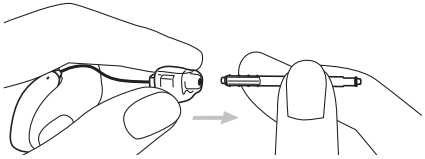
- 耳あか防止フィルターの取り外し／取り付けを行うときは、無理な力を加えないようにしてください。

❶ 使用後の耳あか防止フィルターに、取り外し用の突起物を差し込みます。

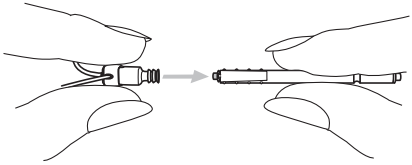


❷ まっすぐにゆっくりと耳あか防止フィルターを引き抜きます。

スリムチップ
またはSPシェル



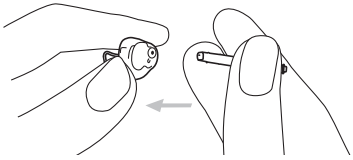
レシーバ



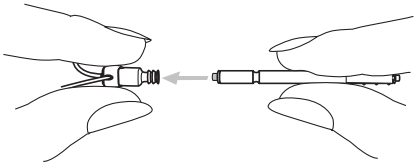
❸ 取り付けツールを使って新しい耳あか防止フィルターを取り付けます。

耳あか防止フィルターが適切な位置に来るように、取り付けツールをまっすぐにゆっくりと差し込んでください。

スリムチップ
またはSPシェル

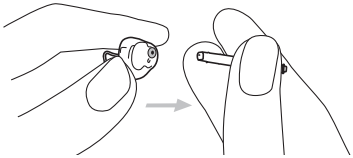


レシーバ

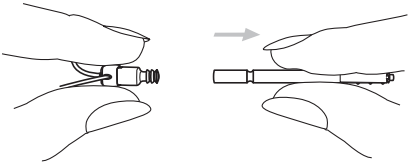


4 まっすぐにゆっくりと取り付けツールを引き抜きます。

スリムチップ
またはSPシェル

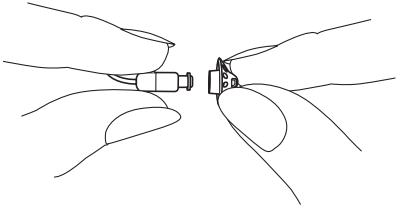


レシーバ

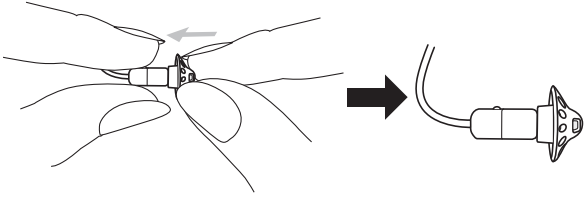


耳せんを取り付ける

❶ 片方の手でレシーバをつまみ、もう一方の手で耳せんをつまみます。



❷ ゆっくりと耳せんを差し込みます。
レシーバと耳せんが隙間なくしっかり固定されていることを確認してください。



ドーム型耳せんの取り外し／取り付け方法については、以下のコードを読み取るか、URLにアクセスして動画をご参照ください。

ドーム型耳せん交換方法

https://youtu.be/Sx2Ldv4AIQY

補聴器の保管

一定期間充電を行わず補聴器を保管する場合は、補聴器の電源をオフにしてからハードケースまたは充電器の耳せん収納部などに補聴器を入れて保管してください。
長期間保管する場合は、過放電による充電池の劣化を防ぐため、定期的に充電するようにしてください。

初めてお使いになる方に

■ 第一段階

はじめは静かな家の中などで使用し、補聴器を付けることに慣れてください。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

■ 第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

■ 第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

■ 第四段階

慣れてきたら、外で聞く練習をします。

MEMO

- 補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

無線について

本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しております。
本製品を分解、改造しないでください。

技術基準適合証明

フォナック オーデオ E-スフィア	 R 005-103867
フォナック オーデオ E-R	

仕様・性能

■ 補聴器の電波情報

アンテナタイプ	ループアンテナ（共振式）
周波数	2.4-2.48 GHz
変調方式	GFSK、Pi/4 DQPSK、GMSK、8 DPSK
出力	2.5 mW未満
Bluetooth®	
バージョン	5.3 デュアルモード
プロファイル	HFP、A2DP、PBP

■ 環境条件

製品は、本製品およびアクセサリのユーザーガイドにしたがって使用された場合に、問題や制限なく機能するように設計されています。補聴器および充電器の使用、充電、輸送、保管は以下の条件下で行ってください。

		使用	充電	輸送	保管
温度（℃）	最大	5～40	5～35	-20～60	
湿度（%）	最大	0～90（結露しないこと）		0～93（結露しないこと）	
気圧（hPa）		500～1060			

輸送および保管中は、温度および湿度が表中の範囲を長時間超えないようにしてください。

■ 電気音響的性能

本書に掲載した値は JIS C 5512:2015（2cm^{3}カプラで測定）による公称値です。

※ 期待動作時間について：期待動作時間は自社規定の測定値からの参考値です。実際の動作時間は、使用環境や聴力レベル、電池の使用経過年月により変化します。

フォナック オーデオ E90-スフィア S
フォナック オーデオ E70-スフィア S
フォナック オーデオ E50-スフィア S
フォナック オーデオ E90-R S
フォナック オーデオ E70-R S
フォナック オーデオ E50-R S
フォナック オーデオ E30-R S

補聴器機能使用時

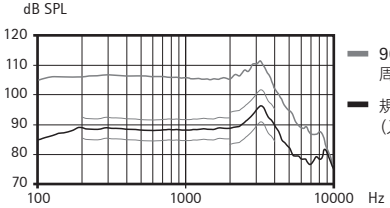
適応聴力範囲		軽度～中等度
最大音響利得（50dB入力）	ピーク HFA-FOG	47＋3 dB 以下 40±5 dB
90dB入力 最大出力音圧レベル	最大OSPL90 HFA-OSPL90	112＋3 dB 以下 107±4 dB
等価入力雑音レベル		19＋3 dB 以下
全高調波ひずみ（最大許容値）	500 Hz 800 Hz 1600 Hz	1.5＋3 %以下 2.0＋3 %以下 2.0＋3 %以下
規準周波数レスポンス	帯域幅 規準利得 (RTG)	f1<200 Hz f2>5000 Hz 30 dB

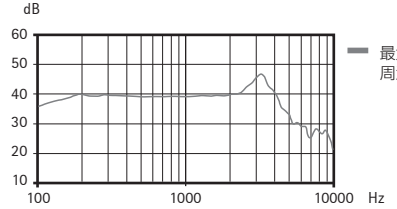
耳鳴マスカ機能使用時（ベント閉塞設定）

最大出力音圧レベル	ピーク	67＋5 dB 以下
広帯域最大出力音圧レベル		80±5 dB

その他

使用電池	リチウムイオン二次電池
期待動作時間※	E-スフィア：22 時間 E-R：29 時間
利得調整器	可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階


dB SPL
120
110
100
90
80
70
100
1000
10000
Hz
90dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンス
規準周波数レスポンス
（入力60dB）


dB
60
50
40
30
20
10
100
1000
10000
Hz
最大音響利得
周波数レスポンス（入力50dB）

フォナック オーデオ E90-スフィア M
フォナック オーデオ E70-スフィア M
フォナック オーデオ E50-スフィア M
フォナック オーデオ E90-R M
フォナック オーデオ E70-R M
フォナック オーデオ E50-R M
フォナック オーデオ E30-R M

補聴器機能使用時

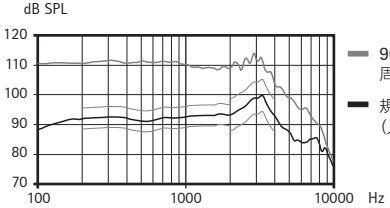
適応聴力範囲		軽度～高度
最大音響利得（50dB入力）	ピーク HFA-FOG	51＋3 dB 以下 45±5 dB
90dB入力 最大出力音圧レベル	最大OSPL90 HFA-OSPL90	114＋3 dB 以下 110±4 dB
等価入力雑音レベル		19＋3 dB 以下
全高調波ひずみ（最大許容値）	500 Hz 800 Hz 1600 Hz	1.5＋3 %以下 2.0＋3 %以下 2.0＋3 %以下
規準周波数レスポンス	帯域幅 規準利得 (RTG)	f1<200 Hz f2>5000 Hz 33 dB

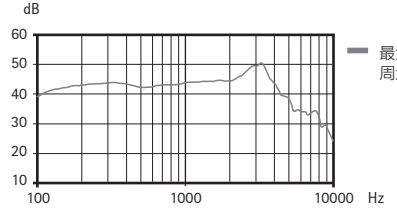
耳鳴マスカ機能使用時（ベント閉塞設定）

最大出力音圧レベル	ピーク	67＋5 dB 以下
広帯域最大出力音圧レベル		84±5 dB

その他

使用電池	リチウムイオン二次電池
期待動作時間※	E-スフィア：22 時間 E-R：29 時間
利得調整器	可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階


dB SPL
120
110
100
90
80
70
100
1000
10000
Hz
90dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンス
規準周波数レスポンス
（入力60dB）


dB
60
50
40
30
20
10
100
1000
10000
Hz
最大音響利得
周波数レスポンス（入力50dB）

フォナック オーデオ E90-スフィア P
フォナック オーデオ E70-スフィア P
フォナック オーデオ E50-スフィア P
フォナック オーデオ E90-R P
フォナック オーデオ E70-R P
フォナック オーデオ E50-R P
フォナック オーデオ E30-R P

補聴器機能使用時

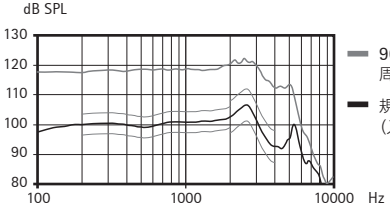
適応聴力範囲		軽度～高度
最大音響利得（50dB入力）	ピーク HFA-FOG	59＋3 dB 以下 56±5 dB
90dB入力 最大出力音圧レベル	最大OSPL90 HFA-OSPL90	122＋3 dB 以下 120±4 dB
等価入力雑音レベル		19＋3 dB 以下
全高調波ひずみ（最大許容値）	500 Hz 800 Hz 1600 Hz	1.0＋3 %以下 1.5＋3 %以下 1.0＋3 %以下
規準周波数レスポンス	帯域幅 規準利得 (RTG)	f1<200 Hz f2>5000 Hz 43 dB

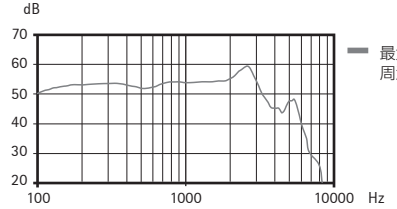
耳鳴マスカ機能使用時（ベント閉塞設定）

最大出力音圧レベル	ピーク	67＋5 dB 以下
広帯域最大出力音圧レベル		89±5 dB

その他

使用電池	リチウムイオン二次電池
期待動作時間※	E-スフィア：22 時間 E-R：29 時間
利得調整器	可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階


dB SPL
130
120
110
100
90
80
100
1000
10000
Hz
90dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンス
規準周波数レスポンス
（入力60dB）


dB
70
60
50
40
30
20
100
1000
10000
Hz
最大音響利得
周波数レスポンス（入力50dB）

フォナック オーデオ E90-スフィア UP
フォナック オーデオ E70-スフィア UP
フォナック オーデオ E50-スフィア UP
フォナック オーデオ E90-R UP
フォナック オーデオ E70-R UP
フォナック オーデオ E50-R UP
フォナック オーデオ E30-R UP

補聴器機能使用時

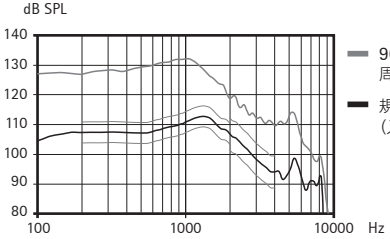
適応聴力範囲		中等度～重度
最大音響利得（50dB入力）	ピーク HFA-FOG	71＋3 dB 以下 66±5 dB
90dB入力 最大出力音圧レベル	最大OSPL90 HFA-OSPL90	132＋3 dB 以下 124±4 dB
等価入力雑音レベル		19＋3 dB 以下
全高調波ひずみ（最大許容値）	500 Hz 800 Hz 1600 Hz	1.5＋3 %以下 1.5＋3 %以下 1.0＋3 %以下
規準周波数レスポンス	帯域幅 規準利得 (RTG)	f1<200 Hz f2>5000 Hz 47 dB

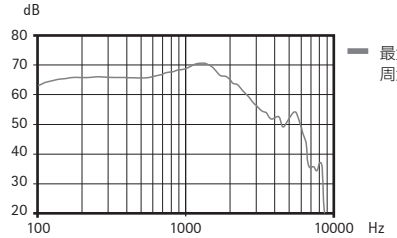
耳鳴マスカ機能使用時（ベント閉塞設定）

最大出力音圧レベル	ピーク	67＋5 dB 以下
広帯域最大出力音圧レベル		84±5 dB

その他

使用電池	リチウムイオン二次電池
期待動作時間※	E-スフィア：22 時間 E-R：29 時間
利得調整器	可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階


dB SPL
140
130
120
110
100
90
80
100
1000
10000
Hz
90dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンス
規準周波数レスポンス
（入力60dB）


dB
80
70
60
50
40
30
20
100
1000
10000
Hz
最大音響利得
周波数レスポンス（入力50dB）

トラブルシューティング

問題	原因
音量が十分でない	音量が小さすぎます
	充電が少なくなっています
	音の出口に耳あかやゴミがつまっています
	正しく耳に入っていません
	聴力が変化しています
お知らせ音（ピー、ピー）が鳴った	充電が少なくなっています
電話ができない	携帯電話と接続されていません
電源が入らない	充電が少なくなっています
充電器に差し込んでも補聴器のLEDランプが点灯しない	補聴器が充電器に正しく差し込まれていません
	充電器が電源に接続されていません
	充電池が過放電しています
補聴器を充電器に差し込んでいる間、補聴器のLEDランプが赤く点灯している	接触端子が汚れています
	周囲温度が範囲外です
	充電池の不具合の可能性があります
充電器から取り外すと、補聴器のLEDランプが消灯する	「自動電源オン」機能が無効になっています
充電器から取り外した後、補聴器のLEDランプが緑色に点灯している	補聴器の電源が完全に切られていない状態で充電器に差し込まれています
ハウリング（ピー、ピー）が止まらない	正しく耳に入っていません

対処方法
多機能ボタンで音量を上げてください（31ページ）
充電してください（17ページ）
耳せんやチューブを掃除してください（45ページ）
きちんと耳に入れなおしてください（26ページ）
耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください
充電してください（17ページ）
携帯電話と接続してください（36ページ）
充電してください（17ページ）
補聴器を充電器に正しく差し込んでください（19ページ）
充電器を電源コンセントに接続してください（18ページ）
LEDの動作に関係なく、補聴器を充電器で満充電してください
補聴器と充電器の接点を掃除してください
周囲温度が5℃から35℃の範囲を超えていないか確認してください
お求めの販売店にご相談ください
多機能ボタンで電源を入れてください（25ページ）
補聴器を再起動してください（40ページ）
きちんと耳に入れなおしてください（26ページ） きちんと耳に入っていてもハウリングが止まらない場合は、お買い求めいただいた販売店へお問い合わせください

アフターサービス

■ 保証書（別途添付）

必ず「販売店名」、「お買い上げ日」などの記載をお確かめになり、大切に保管してください。

■ 修理について

保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

■ その他

アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2026年9月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※ この補聴器は耳を保護する目的で出力120dB SPL以下、利得25dB以下に設定し出荷いたしております。

シンボルマークの説明

CE XXXX	CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器規則(EU) 2017/745および RE 指令2014/53/EUの通信と通信機器・送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は指導した認証機関のコードを表します。
	この記号は、補聴器を使われる人が取扱説明書に書いてある警告に十分な注意を払う必要があることを示しています。
	この記号は、取扱説明書に載っている製品説明がEN60601-1のタイプB に則っていることを表します。
EC REP	この記号は、EC（欧州共同体）での指定代理人を示しています。
	この記号は、医療機器規則(EU) 2017/745に定義される医療機器の製造業者であることを示しています。
	この記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。
SN	この記号は、製品の製造番号（シリアルナンバー）を示しています。
REF	この記号は、この製品を特定できるメーカーのカタログ番号を示します。
MD	この記号は、製品が医療機器であることを示します。
	この記号は、磁気共鳴（MR）環境下（MRIスキャン中など）での使用が安全でない機器を示します。
	この記号は、補聴器を使われる人がこの取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。

IP68	IP規格・防水保護構造及び保護等級。IP68は、補聴器に水および塵に対する耐性が備わっていることを指します。IEC 60529の規格に準拠し、水深1mに60分間入れた後や粉塵試験装置に8時間入れた後でも、補聴器が耐えられることを示します。
IP22	IP規格・防水保護構造及び保護等級。IP22は充電器が直径12.5mm以上の固体異物から保護され、さらに筐体を15°まで傾けた際、垂直方向から落ちてくる水滴によって有害な影響を受けないことを示します。
IP21	IP規格・防水保護構造及び保護等級。IP21は、充電器が12.5mm以上の固形異物から保護されることを示します。垂直方向から落ちてくる水滴に対して保護されています。

輸送／保管条件

	この記号は、製品の輸送、保管時の温度制限（上限値と下限値）を示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時の湿度制限（上限値と下限値）を示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時の気圧制限（上限値と下限値）を示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時に水濡れ厳禁であることを示しています。

Bluetooth®	Bluetooth®およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有し、Sonova AGはライセンスに基づいてこれらの商標を使用しています。 その他の商標および商標名は、各所有者に帰属します。

保証について

■ 日本国内における保証期間

日本国内における本製品の無償保証期間は、E90 はお買い上げ日より4年間、それ以外の器種は2年間です。お手元の保証書をご確認ください。
無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

■ 日本国外における保証期間（国際保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、シェル、アクセサリーパーツ、電池、耳せん、外部レシーバを除く補聴器本体および充電器となります。保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。
当規定は上記の修理保証規定により交換・修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

■ 保証適用除外

お客様または第三者の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、ソノヴァ・ジャパンが指定するサービスセンターでのみ行ってください。
また、補聴器の専門家による補聴器の調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

■ 紛失・盗難・全損時リニューアルサポート

紛失および盗難による本サポート適用には、保証書のほか、遺失届／盗難届等の証明書類が必要です。

Service and warranty

■ Local warranty

Please ask the hearing care professional where you purchased your hearing aids and charger about the terms of the local warranty.

■ International warranty

Sonova AG offers a one year limited international warranty, valid from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the hearing aid and charger respectively, but not accessories such as tubes, earpieces, external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown.

The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national legislation governing sale of consumer goods.

■ Warranty limitation

This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress. Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

Compliance information

Electromagnetic emissions

Manufacturer's Declaration: The hearing aids are intended for use in the electromagnetic environments listed below. The user should assure that they are used in such environments.

Emission Test	Compliance	Electromagnetic environment guidance
RF emissions CISPR 11	Group 1	The hearing aids generate or use RF energy only for their internal functioning. Therefore, the RF emissions are very low and are not likely to cause any interference to nearby electronic equipment.
RF emissions CISPR 11	Class B	The hearing aids are suitable for use in domestic establishment and in establishment directly connected to a low voltage power supply network which supplies buildings used for domestic purposes.

Electromagnetic immunity

Immunity Test	IEC60601-1-2 Test Level	Compliance Level
Electrostatic Discharge (ESD) IEC 61000-4-2	+/- 8 kV contact +/- 2 kV , +/- 4 kV, +/- 8 kV, +/- 15 kV air	+/- 8 kV contact +/- 2 kV , +/- 4 kV, +/- 8 kV, +/- 15 kV air
Radiated RF Electromagnetic Field Immunity Test IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz – 2.7 GHz 80% AM at 1 kHz	10 V/m 80 MHz – 2.7 GHz 80% AM at 1 kHz
Proximity Magnetic Field IEC 61000-4-3	9 V/m; 710, 745, 780 MHz; Pulse modulation 18 Hz 9 V/m; 5240, 5500, 5785 MHz; Pulse modulation 217 Hz 27 V/m; 385 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 450 MHz FM +/- 5 kHz deviation; 1 kHz sine	9 V/m; 710, 745, 780 MHz; Pulse modulation 18 Hz 9 V/m; 5240, 5500, 5785 MHz; Pulse modulation 217 Hz 27 V/m; 385 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 450 MHz FM +/- 5 kHz deviation; 1 kHz sine
Proximity Magnetic Field IEC 61000-4-3	28 V/m; 810, 870, 930 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 1720, 1845, 1970, 2450 MHz; Pulse modulation 217 Hz	28 V/m; 810, 870, 930 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 1720, 1845, 1970, 2450 MHz; Pulse modulation 217 Hz

Immunity Test	IEC60601-1-2 Test Level	Compliance Level
Rated power frequency magnetic fields IEC 61000-4-8	30 A/m 50 Hz or 60 Hz	30 A/m 50 Hz or 60 Hz

Memo

Memo

Memo

7 613389 970104

製造販売業

ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川2-5-8

天王洲パークサイドビル

TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）

FAX 0120-23-4080

https://www.phonak.com/ja-jp

許可番号 13B2X10021

管理医療機器　耳かけ型補聴器

販売名：フォナック オーデオ EON

認証番号 308ALBZX00017000

販売店名

sonova
HEAR THE WORLD

CE 0459

029-1535-17/202609/V1.0 Printed in Japan ©Sonova AG All rights reserved